

ふじみ

市議会 だより

No. 166

平成27年第6回(12月)定例会<会期日程>

11月24日・27日 本会議 開会 会期の決定 陳情の委員会付託 議案内容説明 議案審議 議案及び補正予算の総括質疑 議案の常任委員会付託	12月1日・2日 4日・10日 常任委員会 議会運営委員会 議案及び陳情の審査	3日・4日 7日・8日・9日 本会議 市政一般質問	15日 本会議 委員会審査報告及び採決 議員提出議案審議 閉会
---	---	---	--

新春

富士見市議会議員 集合写真

- (前列右から)
- 建設環境委員長 吉田 和江
 - 議会運営委員長 関野兼太郎
 - 副議長 尾崎 孝好
 - 議長 津波 信子
 - 文教福祉委員長 篠田 剛
 - 総務委員長 大谷 順子
 - 予算決算委員長 吉野 欽三
- (二列目右から)
- 文教福祉委員 寺田 玲
 - 予算決算副委員長 伊勢田幸正
 - 文教福祉委員 根岸 操
 - 建設環境委員 深瀬 優子
 - 総務委員 加藤 清
 - 建設環境委員 加藤久美子
 - 建設環境委員 金子 勝
- (三列目右から)
- 建設環境副委員長 川畑 勝弘
 - 文教福祉副委員長 田中 栄志
 - 総務委員 小川 匠
 - 文教福祉委員 八子 朋弘
 - 文教福祉委員 今成 優太
 - 総務副委員長 勝山 祥
 - 建設環境委員 斉藤 隆浩



議長 津波 信子

年頭にあたって

新年あけましておめでとうございませう。市民の皆様におかれましては、希望に満ちた輝かしい新春をお迎えのことと存じます。

議長就任以来、地域がそれぞれの特色を持って自主性、主体性を最大限に発揮することができるよう魅力ある街づくりの実現に向け、市民の代表である議会として積極的に取り組み、開かれた議会運営に努めております。

昨年、鶴瀬駅西口の区画整理事業において、西口の駅前には快適な機能性の高い広場となり、東口は駅前広場を含む東通線周辺地区の市街地整備を進めることができました。

豊かな地域社会づくりと住民福祉向上を更に目指します。議会に対しましてより一層のご支援ご協力のほどお願い申し上げます。本年が皆様にとりまして、幸多き一年となりますことを心から祈念し、年頭のご挨拶といたします。

県内3番目となる手話言語条例を制定

平成27年第6回(12月)定例会が、11月24日から12月15日まで行われました。

今定例会では、富士見市手話言語条例の制定、富士見市農業委員会の委員及び農地利用最適化推進委員の定数を定める条例の制定、公の施設の指定管理者の指定、平成27年度一般会計補正予算など、全部で21件の案件が市長から提出され、審議の結果、すべて原案のとおり可決、同意しました。

市民から提出された5件の陳情については、2件を採択しました。

議員提出議案4件については、「35人学級の完全実施を求める意見書」、「最低賃金を時給1000円以上に改善することを求める意見書」、「建設アスベスト訴訟の早期解決と被害者の救済を求める意見書」の3件を原案のとおり可決し、1件を否決しました。

12月3日から9日まで行われた市政一般質問には18人の議員が登壇し、執行部の考えをいただきました。

平成28年の定例会の開会日及び 請願・陳情締切日のお知らせ

	3月 定例会	6月 定例会	9月 定例会	12月 定例会
開会日	2月23日 (火)	5月31日 (火)	8月30日 (火)	11月29日 (火)
請願・陳情 の締切日	2月8日 (月)	5月16日 (月)	8月15日 (月)	11月11日 (金)

※定例会の開会時間は、午前9時30分からです。
 ※請願・陳情の締切時間は、締切日の正午までです。
 ※日程は予定ですので変更になる場合もあります。
 事前に議会事務局にお問い合わせ下さい。

平成27年第6回(12月)定例会 審議結果

議案等 番号	議案等の名称	議案等 番号	議案等の名称
71	議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	86	公の施設の指定管理者の指定について(富士見市立針ヶ谷コミュニティセンター)
72	富士見市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について	87	公の施設の指定管理者の指定について(富士見市立放課後児童クラブ)
73	富士見市税条例等の一部を改正する条例の制定について	88	富士見市道路線の認定について
74	富士見市立保育所の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について	89	富士見市道路線の廃止について
75	富士見市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について	90	富士見市道路線の変更について
79	富士見市手話言語条例の制定について	諮問3	人権擁護委員の推薦について
81	平成27年度富士見市一般会計補正予算(第4号)	陳情9	図書館業務の管理について、市による監督・指導のもと、さらなる改善を求める陳情
82	平成27年度富士見市後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第1号)	議22	35人学級の完全実施を求める意見書の提出について
83	平成27年度富士見市都市計画事業鶴瀬駅西口土地区画整理事業特別会計補正予算(第2号)	議23	最低賃金を時給1,000円以上に改善することを求める意見書の提出について
84	平成27年度富士見市都市計画事業鶴瀬駅東口土地区画整理事業特別会計補正予算(第2号)	議25	建設アスベスト訴訟の早期解決と被害者の救済を求める意見書の提出について
85	公の施設の指定管理者の指定について(富士見市民文化会館キラリふじみ)		

○賛成 ×反対

議案等 番号	議案等の名称	審議 結果	賛否の分かれた議案等																				
			21・未来クラブ				草の根			公明党			日本共産党			ネ	絆						
			田中 栄志	斉藤 隆浩	吉田 和江	吉野 欽三	関野 兼太郎	尾崎 孝好	今成 優太	勝山 祥	伊勢田 幸正	八子 朋弘	金子 勝	津波 信子	深瀬 優子			加藤 清	篠田 剛	大谷 順子	寺田 玲	小川 匠	川畑 勝弘
76	富士見市介護保険条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
77	富士見市農業委員会の委員及び農地利用最適化推進委員の定数を定める条例の制定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
78	富士見市個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の制定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
80	富士見市農業委員会の委員候補者選考委員会条例の制定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
陳情7	総合体育館再建費用の財源確保のため、議員の定数を6名削減する陳情	不採択	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
陳情8	叙勲祝賀会への市職員の対応について見直しを求める陳情	不採択	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
陳情10	富士見市から補助金を受領している行事主催者が、現職富士見市議会議員から公職選挙法で禁止されている違法な寄付金を受領していた事実を鑑み、補助金被交付団体のコンプライアンス(法令順守)徹底等の補助金運用・有り方の見直しを求める陳情	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
陳情11	富士見市庁舎での政治的主張のポスター掲示を許可しないよう求める陳情	不採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議24	辺野古基地建設反対、地方自治の尊重を求める意見書の提出について	否決	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	

※表中、会派の「ネ」は富士見市民ネットワーク、「絆」は市民の絆を省略し表記しています。 ※表中、議案等番号の「議」は議員提出議案です。 ※議長の賛否表明は議長を除く議員の賛否が同数の場合のみです。

市議会議員の年賀状・暑中見舞状・祝金等寄附行為は、法律で禁止されております。皆様のご理解をお願いします。

12月3日・4日・7日・8日・9日の5日間にわたり18人の議員が、市民生活に関わる諸問題をはじめ、富士見市の将来を見据えた課題や施策等市政一般について、市長・教育長等の考えをたずねました。

ここでは、定められたスペースで質問者が執筆した原稿を掲載しました。

市民生活・環境などで活発な発言

齊藤 隆浩(21・未来クラブ)

①広域行政(富士見市・ふじみ野市・三芳町)の進展について

公共施設の相互利用は。主な体育施設と図書館施設は、相互間協定に基づき相互利用が可能。

今後の広域合併の考えは。現時点における広域合併の気運はないが、本市の特性を活かしたまちづくりを推進し、魅力ある環境づくりにつなげていきたいと考えている。

②「ごみ屋敷」問題について

本市の状況と対応は。報道で取り上げられている様な状況にはないが、ごみの保管状態が不良で、悪臭などが発生しているケースは若干ある。個別に改善のお願いをしている。

③サイクルシェアリング(自転車の貸し出し)について

観光や商店街活性化のため検討を。市内を訪れた方の回遊手段として有効な施策と認識している。しかし、導入コストや運用など、研究しなければならない課題がある。

大谷 順子(日本共産党)

①予算編成方針について

市長は、低所得層への負担軽減のため国保税と水道料金を見直す公約をしている。今期最後の予算で実行を。国保税は国の制度改革を見極めてから財政上可能か研究する。市としては国保税と窓口払いの減免要綱をつくった。水道料金は水の水の単価を変更する時に検討する。

国保減免要綱は評価するが、困窮者が活用しにくい。活用しにくいならば見直しを検討する。

篠田 剛(公明党)

①事務コスト削減について

インターネットFAXを導入する場合のコスト削減は。浜松市の例だと月額基本料金1080円に、1カ月でA4サイズを100カ所送付すると840円の通信料が付加され総額1920円となる。FAX機と比較すると月額5323円のコスト削減ができるという結果が示されている。

インターネットFAXに係わるメリットについて。固定電話回線やトナー代などが不要になり経費削減になる。またスマートフォンなどにも共有でき利用価値は大きいと認識する。一方手書き文書を電子データ化するためにはスキャナー機が必要になる。

②特定健診と市民総合体育館の連携について

特定保健指導について。対象者を積極的支援と動機づけ支援にグループ分けし、健診結果の振り返り・生活習慣の改善について休日も含め個別面談を行う。指導はスリムアップポディーチェック、食事から健康アップ講座、運動講座等を実施し6カ月間意識が保持する働きかけを行う。

小川 匠(日本共産党)

①関越道三芳スマートインターのフルインター化に伴う富士見市への影響について

2018年度に三芳インターが上下線入り可、大型車通行可となるが富士見市への交通・環境への影響は。現時点での把握は難しい。18歳までの医療費無料化の実現を。子どもの貧困が広がる中、子育て支援のため実施を。現時点では考えていない。

市長は、財政的に余裕があればやるのか、18歳までは必要ないと考えるのか。本来国がやるべきで自治体間で差がつくのは好ましくない。現状15歳までの無料化はふじみ野市と三芳町と一緒に実施しているので、やるならその形で考える。県内でも、子育て支援と医療費無料制度は一体の施策として広がっている。国に実施を求めるとともに、ふじみ野市と三芳町とも協議を。2市1町の首長とも18歳までの必要性は共通の認識と考える。やる時の環境との整合性が図れるかと思う。

吉野 欽三(21・未来クラブ)

①投票率向上に向けて

全ての投票所までの道程距離は3キロメートル以内であるとしているが、南畑地区の投票所までの距離の計測を。一部地域に3.26キロメートルあることを確認した。有権者の公平性から改善策が必要。南畑公民館に期日前投票所の設置を強く望む。

市の面積や有権者数など、近隣自治体と比較すると、現在設置している2カ所は妥当であると判断している。②水害に対する市民の危機意識の向上について

ここ10数年水害が発生していない大きな理由として、南畑排水機場と別所雨水ポンプ場の存在がある。しかし、市民にあまり知られていない。この2施設が果たしている役割や重要性を啓発する取り組みは、水害に対する危機意識の向上に大きな効果があると考えられる。防災無線でのポンプ稼働情報の放送や施設便りの作成、配布等の取り組みを。適切に情報の提供をするとともに、掲載内容等を検討し提供できるよう取り組む。

心ふれあう安心のまちづくり 関野 兼太郎(21未来クラブ)

①公共施設のインターネット予約について

新年度から始まるが、実際にに向けた準備状況は。12月末までにシステムの構築を終了し、1月から各施設で準備作業を行い、4月から本格稼働となる。公民館について利用者からの声は。方法が変わることに不安の声があった。不安の声への対応は。職員が熟知したうえで、今後詳細に説明をしていく。

施設利用予約の自動抽選の導入にあたって、地域活動の拠点である公民館の役割をどう担保していくのか。地域の活動を支援するのは公民館の使命と考えている。

②富士見市のホームページについて

5年前にリニューアルした。見直しの時期ではないか。情報量の増加に伴い、目的の記事や情報を見つけるのが難しいとの意見がある。トップページ等の改修の実現に向けて作業を進めている。

加藤 久美子(富士見市民ネット)

①市民文化の保存と周知について

市民からの寄贈・預託の数と管理は。272点。図書館、公民館等で管理している。一元管理で修復し、市民へ展示会・美術展で公開を。受け入れの施設で管理し、展示会、美術展の企画は困難。

次代への継承、市史編纂に生かすために学芸員、専門会社に委託を考えては。財政的に困難。②子どもの安全な暮らしを守るために

乳幼児、学齢期の健康診査の取り組みは。健康状態を把握、子育て生活の困難さやうかがえる場合は他部署と連携している。③市民の憩いの場となる公園づくりに向けて

既存公園の周辺住民の意向聴取の考えは。実際に利用者の声を聞いて反映させている。未設置地域の解消を図る計画は。都市公園設置基準に基づき判断している。

川畑 勝弘(日本共産党)

①市民要望の実現を

2013年に市民から、ヤオコ1前交差点、きたはら幼稚園下交差点、金子モーターズ前交差点に信号機の設置をとの174筆の要望署名が出された。現在の進捗状況は。市として、3カ所の交差点への信号の設置は必要と判断し埼玉県警に要望している。

要望だけでなく、現地の状況を調査し、危険な状況を把握し、根拠を示し強く要求するべきと考えるが。県内で836件の要望があるうち年20カ所しか付かず厳しいが、努力していく。

根岸 操(市民の絆)

①貧困対策について

子どもの貧困対策は。施設を借りて生活困窮世帯・生活保護世帯の中高生の学習支援を実施している。他に保護者軽減の検討は。学校の教材費なども、教育計画を立てていく。失業による貧困対策は。相談窓口の周知と必要な支援が受けられるようにする。

介護による貧困対策は。早期発見に向け認知症支援チームを来年度から作り、予防・健康づくりを講じる。②公契約について

今後の方向性は。昨年要綱を制定し、労働環境全般について取り組んだ。施行後期間が経っていないので、運用と合わせ様々な角度で研究していく。③鶴瀬駅東口道路について

市道第52号線(みずほ銀行通り)の水溜りの改善は。応急的な修繕は早急に実施する。東通線と市道第297号線(埼玉通り)交差点の安全は。(埼玉通り)交差点の安全は。横断歩道手前の歩行者溜りを確保した。

寺田 玲(日本共産党)

①地域要望の実現を

富士見橋の歩道と車道の間に柵を設置し安全対策を。歩道の幅が狭く難しい。榎町地域から柳瀬川駅方面の人道橋設置を。趣旨は理解するが、問題点も多い。研究していく。②新規保育所への入所申請方法の改善を

本年の入所申請受付数と待ち時間は。510人程度。昨年より50人程度多い。2時間程度の待ち時間と認識している。本市は受付期間が3日間、同時に乳幼児面接を実施している。乳幼児を連れて長時間待つのは困難。時間は延長したが、申請者数が増加している。さらなる改善が必要では。今後改善を検討する。

障がい児・者施策充実を。施設入所者が帰宅する際生活サポート事業が利用できるような改善を。日常的な帰宅は対象外。他市では年末年始の一時帰宅時の利用が可能。検討を。年末年始や一時帰宅なら今の状況でも利用可能である。



水害対策を担う南畑排水機場

加藤 清(公明党)

人が孤立しない市を目指す
深瀬 優子(公明党)

田中 栄志(21・未来クラブ)

勝山 祥(草の根)

今成 優太(草の根)

伊勢田 幸正(草の根)

八子 朋弘(草の根)

金子 勝(草の根)

①誰もが読書を楽しめる環境づくりを

○日常生活用具給付等事業に「大活字本」を。

○「大活字本」は、現在給付している拡大読書器や活字文書読上装置機器等に頼らず

気軽に文庫本などが読めるメリットがある。日常生活用具に大活字本を加えることについて、図書館での大活字本の利用状況や、当事者の方々の意見を参考に研究していく。

②徘徊高齢者に対する市の取り組みについて

○「みまもりシール」導入について。

○「みまもりシール」及び現在の徘徊探知機を含め早期発見・保護につなげていけるよう検討する。

③富士見市の文化芸術の推進について

○個人芸術家の活動の場を広げる取り組みについて。

○個人芸術家の活動支援には一定の評価基準が必要。文化芸術の特殊性を考慮すると評価基準の設定は困難。情報発信、施設提供などの環境作りを進める。

①富士見市の農業ビジョン

○市の現状と取り組みは。

○農業従事者の高齢化が進み、離農できない状況。環境づくり、担い手の確保、農用地利用の向上を検討していく。

○人・農地プランの策定は。意向アンケートや説明会を実施。関係機関と連携し年度内の策定を目指す。

○6次産業の取り組みは。本市では個人で農産物加工品の製造と販売、農家カフェを行っている農業者がいる。引き続き支援をする。

○女性に対する農業支援は。重要な担い手として大きな役割を果たしている。本市3名の「さいたま農村女性アトバイザー」と協力し男女共同参画推進と農業振興を図る。

②賃貸住宅への入居の制限を受けやすい方々への支援は

○市の現状と取り組みは。

○住宅担当窓口で相談を受けている。市営・県営住宅の案内のほか「住まい安心支援ネットワーク」に登録の「あんしん賃貸住まいサポート店」を案内し、支援している。

①富士見市まち・ひと・しごと創生総合戦略について

○作成の進捗状況は。

○12月22日には、審議会で総合戦略(案)を審議予定。概ね予定通りに進捗していると考ええる。

○数値目標・重要業績評価指標の考え方は。

○基本的には施策の取り組みによって市民にもたらされる効果を客観的な数値で設定し、目標の達成度合いを検証できるようにしていきたい。

②全国学力・学習状況調査結果報告を受けてについて

○第2回総合教育会議を踏まえた教育委員会の見解は。

○成果と課題を明らかにし、今後の施策に具体的に生かしていく。各学校は、結果を保護者とも共有し家庭学習の充実にも努める。

③不動産に対する市の考え方について

○土砂災害警戒区域等の解除についての対応は。

○開発等により崖の形状が変わるなど、指定の対象から外れれば、県に対して指定の見直しを働きかけたい。

①地域の安全について

○防犯カメラ付き自動販売機の設置を。

○設置費用の点や事業者の意見を聞いて研究したい。

○ふじみ野市では費用負担なしで防犯カメラ付き自動販売機を設置しているがどうか。

○参考にして研究したい。

②2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けて

○体育の授業でパラリンピック競技種目を体験しては。

○体育での取り扱いには難しいが、福祉教育の場において体験的に行うことを考えたい。

○富士見特別支援学校と連携してはどうか。

○特別支援学校とは、障がい者を考慮しつつ、考えたい。

③ふじみ野地域について

○ピアサふじみ(ふじみ野出張所)の受付時間延長を行っているかどうか。

○利用状況の経過を見て調査研究していきたい。

○近隣市は急行停車駅では出張所の受付時間延長が土日開庁を行っている。改めてピアザの受付時間延長を。

○利用者推移で判断する。

①学校選択制度・不登校児について

○学区外の学校も選択できる本制度を、県内の21自治体で行っている。市の見解は。

○メリット、デメリットの両方がある。本市は特例を除き現行のままで行く予定。

○特例とは部活動、転居、人間同志のトラブルなどが関係してくる。不登校児が環境改善のために、転校は可能か。

○可能である。

②施設の誘致について

○本市には浦和所沢・富士見川越バイパスの2本が通っており、和光まで延びる計画もある。また、富士見市を含む県南西部は県営の施設が極めて少ない。県営公園の誘致や「道の駅」の開発をしてはどうか。

○同じ認識である。条件を整えば、「道の駅」を造る。

③スポーツ環境の充実について

○総合運動場の新規建設について以前から要望しているが進展はない。それでは、2市1町合同で取り組んで。

○現在、議論はない。

①平成27年度予算及び市民からの要望について

○市立集会所中、入り口に段差がある等、車いすで入れない集会所はどの程度あるか。

○30ある集会所中14カ所。改善に向けた市の考えは。

○今後の大規模改修に合わせ現行のままで行く予定。

○特別とは部活動、転居、人間同志のトラブルなどが関係してくる。不登校児が環境改善のために、転校は可能か。

○可能である。

○市立集会所中、トイレが男女別化されていないものは、30ある集会所中5カ所。トイレの男女別化実現に向けた考えはどうか。

○今後の大規模改修に合わせて検討していきたい。

○からばーと開業後、民間バス路線が増えたが、渡戸地域にバス停がほしいとの声をいただいている。バス停を設けるよう、事業者から要望をしては。

○からばーと開業前に、事業者にも、そうした点を要望したが、結果として今のようにな形になった。

○今後、事業者に再度、要望をする考えはないか。

○からばーと開業後、1年ぐらいたったところで、意見交換の場を設けたい。

①みずほ台駅西口のエレベーター設置について

○来年度予算にエレベーター設置工事負担金が計上されるようだが、協議の経過は。

○毎年、東武鉄道と協議した結果、東武ストア内に設置可能との結論に至った。

○今後のスケジュールは。

○東武によると、来年度中の完成を目指すとの事である。

○市の費用負担割合は。

○総事業費の6分の1だが、更に三芳町と協議したい。

②子どもの貧困対策について

○日本の子どもの6分の1が貧困状況にある中、有効な対策をうつためにも、実態把握は重要である。全小1年生を対象に、保護者の収入等の調査を行った足立区の事例を参考にすべきではないか。

○個人情報問題があるが、他市の状況も参考に検討していきたい。

③生活保護費の不正受給者に対する督促について

○督促の実施等、適正な債権管理が行われているか。

○債権管理マニュアルに基づき、行われている。

①決算のあり方について

○水道と下水道会計は企業会計を採用している。他市に先駆け中間決算を導入しては。

○有効と思う。研究したい。

○一般会計から下水道会計への補助金は赤字補填の他に急な支払いに備えた手元現金の保険と化している。地方公営企業法に照らし問題では。

○今後、精査していく。

②中期財政計画について

○計画の目的は市の財政情報をもとに共有し、市民と市が英知を結集し、将来の危機に備えることだと思ふ。一方、推計の基準を変更した点や専門用語など、市民と財政情報共有する工夫が薄いのではないか。

○今後も工夫を続けたい。

○市の貯金である財政調整基金の残高は5年後には1億6000万円に減り、借金は増える。この危機をどう乗り切るのか。

○最大限努力していきたい。

③地域公共交通会議について

○利害関係者が一堂に会するため、市が指導力を発揮し、方針を示さないと、「会議は踊る」になりかねないのではないか。

○そうならぬよう努めたい。

議会を傍聴しませんか

(12月定例会の傍聴者数は168人でした)

富士見市議会では、本会議及び委員会が公開となっています。市民の皆さんの代表である議員の活動や審議の状況を直接傍聴してみませんか。議会事務局で住所・氏名を記入し、傍聴券を受け取り傍聴席に入ることができます。

また、手話通訳を希望する場合には、早目に事務局へお知らせください。なお、ご希望の日に対応できない場合もありますので、あらかじめご了承願います。

次回定例会のご案内

2月23日(火) 開会の予定です。

請願・陳情は、2月8日(月)正午までにご提出ください。

《議会事務局》電話 049-251-2711 内線165・166

FAX 049-255-9637

メールアドレス gikai@city.fujimi.saitama.jp

表紙写真を募集

議会だよりの表紙写真を募集しています。下記の要領でご応募をお願いします。

- ◆カラー写真
- ◆被写体のテーマ『私が選んだ富士見市百景』
- ◆写真(2L版)か写真データ
- ◆受付は随時行っています。

- *写真、データは返却いたしません。
- *写真のタイトル・撮影年月・場所を明記

◆送付先 〒354-8511

富士見市大字鶴馬1800番地1

富士見市議会事務局 あて

電話 049-251-2711 内線165・166

FAX 049-255-9637

メールアドレス gikai@city.fujimi.saitama.jp

◇採用の方には、富士見市の特産品を贈呈します。

議会映像をインターネットで配信中!

ライブ中継 本会議を生放送

録画映像 会議終了後1週間程度で配信

議長の公務記録や政務活動費の領収書などの議会の情報もホームページで公開しています。

富士見市議会

検索

とクリック。

議会映像配信の利用状況

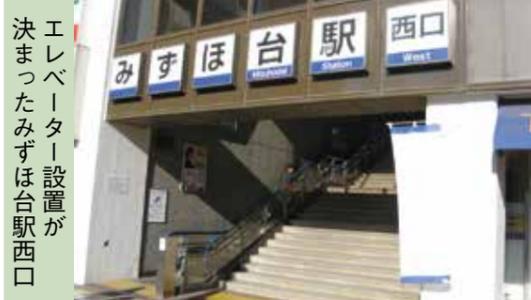
インターネットによる議会映像配信の平成27年における利用状況をお知らせいたします。

	録画	ライブ
年間件数	2,986	3,501
平均件数	8	97

*平均件数について

録画は平成27年中に視聴された合計件数を1日あたりで換算したものの。

ライブは平成27年中に生放送を視聴された合計件数を本会議開催日数(36日)で換算したものの。



12月定例会 議案審議報告

議案第77号

富士見市農業委員会の委員及び農地利用最適化推進委員の定数を定める条例の制定について (賛成多数可決)

農業委員会等に関する法律の改正により、委員の選任方法を公選制から任命制へ移行するので、条例を制定するものです。

《主な内容》

- ・農業委員会委員の定数は、14人。
- ・農地利用最適化推進委員の定数は、7人。

〔平成28年4月1日施行〕

議案第79号

富士見市手話言語条例の制定について (全会一致可決)

手話に対する理解を深め、これを広く普及するとともに、手話を使う市民が安心して日常生活を送ることができるよう環境を整え、全ての市民が共に生きる地域社会を実現するため、条例を制定するものです。

なお、条例には、市の責務及び市民の役割を明らかにし、手話に対する施策を推進するための基本的事項を定めています。

〔平成27年12月18日施行〕

議案第81号

平成27年度富士見市一般会計補正予算(第4号) (全会一致可決)

既定の予算に3億7067万1000円を追加し、予算の総額を33億3170万4000円とするものです。

《主な内容と金額》

- ・自立支援給付事業の利用件数の増加に伴う障害介護給付費を増額するための補正
- 〔1億4302万9000円〕
- ・平成26年度生活保護費等国県負担金の超過交付金を返還するための補正。

〔1億2629万8000円〕

職員の人事異動等による職員給与費等の補正。

〔4083万8000円〕

議案第85号

公の施設の指定管理者の指定について (全会一致可決)

富士見市民文化会館キラリふじみの指定管理者を左記のとおり指定するものです。

○指定管理者となる団体

公益財団法人キラリ財団
富士見市鶴馬183番地1
理事長 紫関 伸一

○指定の期間

平成28年4月1日から
平成33年3月31日まで

議案第86号

公の施設の指定管理者の指定について (全会一致可決)

富士見市立針ヶ谷コミュニティセンターの指定管理者を左記のとおり指定するものです。

○指定管理者となる団体

公益社団法人富士見市シルバー人材センター
富士見市羽沢3丁目23番17号
理事長 萩元 實三郎

○指定の期間

平成28年4月1日から
平成33年3月31日まで

議案第87号

公の施設の指定管理者の指定について (全会一致可決)

富士見市立放課後児童クラブの指定管理者を左記のとおり指定するものです。

○指定管理者となる団体

社会福祉法人富士見市社会福祉事業団
富士見市鶴馬336番地1
理事長 柳田 政男

○指定の期間

平成28年4月1日から
平成33年3月31日まで

諮問第3号

人権擁護委員の推薦について (全会一致同意)

平成28年3月31日で任期満了となる川添知子氏を再び推薦することに同意したものです。

陳情審査報告

《議会運営委員会》

陳情第7号

総合体育館再建費用の財源確保のため、議員の定数を6名削減する陳情 (不採択)

陳情者 増田 茂

《総務常任委員会》

陳情第8号

叙勲祝賀会への市職員の対応について見直しを求める陳情 (採択)

〔なお本会議では不採択〕

陳情者 小川 安治

陳情第10号

富士見市から補助金を受領している行事主催者が、現職富士見市議会議員から公職選挙法で禁止されている違法な寄付金を受領していた事実を鑑み、補助金被交付団体のコンプライアンス(法令順守)徹底等の補助金運用・有り方の見直しを求める陳情 (採択)

陳情者 永井 由紀子

陳情第11号

富士見市庁舎での政治的主張のポスター掲示を許可しないよう求める陳情 (不採択)

陳情者 永井 由紀子

《文教福祉常任委員会》

陳情第9号

図書館業務の管理について、市による監督・指導のもと、さらなる改善を求める陳情 (採択)

陳情者 鈴木 孝吉

意見書

35人学級の完全実施を求める意見書

35人学級は2011年3月全会一致で義務教育標準法に盛り込まれたものであり、附則で小学校2年以降も順次改定を検討・実施すると定められました。子どもたちへ行き届いた教育を行うためには、35人学級を全学年に広げ、一クラスの少人数学級をさらに進めることが求められています。

教育は未来への先行投資であり、子どもたちに最善の教育環境を提供する必要があります。そのためにも学校現場における35人学級の実現は急務の課題となっています。

国におかれましては厳しい財政状況の地方自治体に負担を強いることなく、また、次世代を担う子供たちの健やかな成長の為に国の責任で35人学級を早期に完全実施されるよう強く要請します。

提出先 内閣総理大臣 文部科学大臣

最低賃金を時給100円以上に改善することを求める意見書

政府が11月24日に経済財政諮問会議を開き、最低賃金について年率3%程度をめどとして名目GDPの成長率にも配慮しつつ引き上げ、全国加重平均が100円となることを目指す目標を立てたと報道されました。

現在、1日8時間、22日の労働で14万4320円の賃金では、生活を支えることができず、「労働者の生活の安定」に資する最低賃金の趣旨に照らして、早急な改善が求められます。また、最低賃金の改善は、地域経済の活性化に大きく影響して、地域経済の底上げに直結します。

よって、時給100円以上の最

低賃金を全国で実現すること強く要望します。

提出先

内閣総理大臣 厚生労働大臣
財務大臣 経済産業大臣

建設アスベスト訴訟の早期解決と被害者の救済を求める意見書

クボタのアスベスト被害が大きな社会問題になって10年が経過します。石綿健康被害救済制度の給付者は2006年の制度発足以降、労災認定者を含めると2万人を超えています。

さらに、アスベスト含有建材を使用した建物約280万棟の解体工事が今後ピークを迎えることから、被害の拡大は必至な状況です。

なお、東京地裁判決も、建設従事者が受けた被害の深刻さに対し、国のみでなく、製造企業を含めた補償へ、立法府及び関係当局における真摯な検討を望むと述べています。

よって、建設アスベスト訴訟の早期解決とアスベストによる全ての被害者の救済を強く求めます。

提出先 内閣総理大臣 国土交通大臣
厚生労働大臣 経済産業大臣

タブレット利活用推進委員会視察報告

議会閉会中の10月30日、議会内のペーパーレス化や議会運営に加え、文書共有システム導入の研究を進めていくため、先進議会の所管事務調査を行った。視察先の神奈川県寒川町議会では、平成27年3月議会よりタブレットを導入し、あわせて文書共有システムとして「moreNOT」を導入した。専用サーバーを設ける方式などに比べてコストが安く、このシステムにより、資料の配布や共有、更には訂正や差し替えも非常に簡単に行えるとのことであった。また膨大な紙資料が不要になるだけでなくその整理の手間も省くことができ、加えてペーキング機能により膨大なページの資料を使つての説明時などにも活用できるとのことであった。

今後タブレットの更なる利活用の推進に向けて、検討を進めていく。

提出先 内閣総理大臣 国土交通大臣
厚生労働大臣 経済産業大臣

議会報告会を開催しました

富士見市議会基本条例に基づき、平成27年11月14日(土)に市役所全員協議室と水谷東公民館で議会報告会を実施し、合わせて45名のご参加をいただきました。

議会報告会では、平成27年第5回(9月)定例会を主な内容とし、はじめに平成26年度一般会計歳入歳出決算認定について各分科会長が報告した後、各会派より決算に対する意見の表明があり、質疑応答を行いました。続いて市議会、市政全般についての意見交換を行いました。

その後に、初めての試みとして、テーマ(選挙の投票率向上)について、市民と議員が2班に分かれての意見交換会を行いました。

平成28年度以降も引き続き議会報告会を実施いたしますので、ぜひ一人でも多くのご参加と貴重なご意見をお願いいたします。

なお、当日の資料やアンケート結果等については、ホームページをご参照ください。



寒川町議会議場にて



於 富士見市役所



意見交換会



於 水谷東公民館



意見交換会



市民の声

「ららぽーと」と「安心安全」 津田 和也

結婚を機に富士見市に引っ越して来て20年になります。子供が生まれ少しずつこの地にも慣れ、10年ほど前から地域の活動にも参加するようになりました。

私の家は「ららぽーと」の近くで、子供も諏訪小学校に通っています。市役所前に巨大ショッピングセンターが出来ると聞いた当初、大きな楽しみが出来た一方で、風紀の乱れや交通量増加など危惧しました。オープン後、人通りが増え、休みの日には車も大渋滞です。私たち地域住民にとってこの渋滞は大変迷惑なのですが、一方で人が増えることによって監視の目が増え、それが防犯に役立っているのではないかと捉えるようになりました。幸い今のところ大きな事件や事故は起きていません。

まだまだ子供が小さいうちは安心出来ませんが、今後も子供からお年寄りまでみんなが住みやすい富士見市づくりを期待します。

編集後記

平成27年度に県外から富士見市議会へ行政視察に来られた自治体はこれまでに5団体と、例年になく多くあります。それは富士見市議会が取り組んできた情報公開をはじめとする議会改革が目指されている証なのではないでしょうか。議会の情報公開の手段の一つである「ふじみ市議会だより」を、これからも、限られた紙面ですが、可能な限り多くの情報を載せつつ、市民の皆様へわかりやすい紙面を目指して編集してまいります。